

## 国会を革命的・社会民主主義的に利用すること

### 国会活動にかんするボリシェヴィキの任務についての演説と決議案

われわれは、討論の終りに近づいている。……私は、リーフレットによる煽動にかんする決議案の下書きをつくった。

「ボリシェヴィキ中央部は、国会活動にかんするボリシェヴィキの任務の問題を審議して、つぎのように決定する。大衆のあいだに社会民主主義者の国会活動にかんする情報をひろめ、この活動に方向をあたえるリーフレットによる煽動（地方と州の印刷した機関紙のほかに）の重要性に、すべての地方組織の注意をむけることが必要である。このようなリーフレットのテーマには、つぎのものがなることができよう。国会の演壇から解明すべき諸問題を指摘すること、国会および諸党のグループ分けにおける社会民主主義者の活動を総括すること、これらの問題についての宣伝演説の要綱をつくること、国会における社会民主主義者のとくに重要な演説の政治的意義を分析すること、社会民主主義者の国会演説で言いたらない点や不正確なところを指摘すること、最後に、彼らの演説を抜粋し、それに宣伝・煽動にとって重要な実践的結論をつけること、等々」。

また、私は、国会活動にたいする態度の問題について私的会合での演説でふれた諸論点を、決議の形で、つぎのように下書きしてみた。

「二、国会を革命的・社会民主主義的に利用すること、それを改良主義的（もっとひろく言えば、日和見主義的）に利用することとの区別は、つぎのような——あえて十分なものとはいわないが——言葉によって特徴づけることができる。

社会民主党国会議員団のいわば外的な関係の見地からみれば、国会を革命的・社会民主主義的に利用することと、改良主義的に利用することとの区別は、つぎの点にある。それは、議員たちと、しばしば彼らをとりまいているブルジョア・インテリゲンツィアとにみられる、議会活動をなにか主要なもの、基本的なもの、自足的なものにまつりあげようとする志向、あらゆるブルジョア社会で（とくに反動期のロシアでは）自然な志向にたいしてたたかう必要があるということである。とりわけ、議員団が、実際に自分の活動を労働運動全体の利益に従属した機能の一つとしておこなうように、また、議員団が党から孤立しないで、たえず党とつながりをたもち、党の見解を、党大会と党中央諸機関の指令を実行するようにならせるために、全力をそそぐことが必要である。

議員団の活動の内的な内容の見地からみれば、つぎの点を考慮にいれなければならない。社会民主党国会議員団の活動目標は、そのほかのあらゆる政党の活動目標とは原則的にちがっている。プロレタリア党が志向しているのは、権力者との協定や取引ではなく、反革命の農奴主的＝ブルジョアの独裁制度を見込みもなくつくろうことではなくて、労働者大衆の階級意識、その思想の社会主義的明瞭さ、その革命的決意と全面的な組織性をあらゆる方策によって発展させることである。議員団の活動の一步一步は、この原則的な目標にしたがわなければならない。だから、国会の演壇から社会主義革命の任務を主張することに、もっと多くの注意をむけなければならない。社会主義の、そしてまさに科学的社会主義の基本概念と目標を宣伝する演説が、もっとたびたび国会の演壇から聞かれるように、努力しなければならない。つぎに、ブルジョア民主主義革命がつづいている今日の情勢のもとでは、国会議員団が『解放運動』にたいする反革命のたえまない攻撃と系統的につぎ

つぎたたかうこと、革命を非難し、革命とその目標、方法、等々にけちをつけようとする広範な潮流（直接の反動派も、自由主義者——とくにカデット——も）とたたかうことが、きわめて重要である。社会民主党議員団は、国会で、革命の旗、ロシアのブルジョア民主主義革命の指導者である先進的な階級の旗を、高くかけなければならない。

さらに、社会民主党国会議員団が、あらゆる労働立法の問題に精力的に参加することが、いまの時機にはきわめて重要な任務であることを指摘しなければならない。議員団は、自分の活動のこの機能を日和見主義的に歪曲しないようにとくに警戒しながら、西ヨーロッパの社会民主主義者の豊富な議会活動の経験を利用しなければならない。議員団は、わが党の最小限綱領のスローガンと要求を不具なものにしてはならない。むしろ、大衆のまえに社会改良主義の偽善と虚偽を暴露するために、大衆を自主的な経済的・政治的大衆闘争へひき入れるために、独自の社会民主主義的法案（ならびに政府および他党の法案にたいする修正案）を作成し、提出しなければならない。ただこの大衆闘争だけが、労働者に真の成果をもたらすことができるか、あるいは、現在の制度の基礎のうえでの中途半端で偽善的な『改革』を、プロレタリアートの完全な解放への途上における前進的労働運動の拠点にかえることができるのである。

社会民主党国会議員団と社会民主党全体は、日和見主義的動揺の最新の産物である社会民主党内部の改良主義にたいしても、同様の立場をとらなければならない。

最後に、国会を革命的・社会民主主義的に利用することと日和見主義的に利用することとの区別は、つぎの点になければならない。すなわち、社会民主党議員団と党とは、政府と露骨な反動派とを攻撃するだけにとどまらず、自由主義派の反革命性をも、小ブルジョア的農民民主主義派の動揺をも暴露して、あらゆるブルジョア政党の階級的性格を大衆に全面的に説明しなければならない。

第 15 卷 P427~430 『「プロレタリー」拡大編集局会議』

1909 年 6 月 12~13 (25~26) 日に執筆

1934 年 『「プロレタリー」拡大編集局会議議事録』にはじめて発表

## ポイント

社会民主党国会議員団の活動目標は、そのほかのあらゆる政党の活動目標とは原則的にちがっている。プロレタリア党が志向しているのは、権力者との協定や取引ではなく、反革命の農奴主的＝ブルジョア的独裁制度を見込みもなくつくろうことではなくて、労働者大衆の階級意識、その思想の社会主義的明瞭さ、その革命的決意と全面的な組織性をあらゆる方策によって発展させることである。議員団の活動の一步一步は、この原則的な目標にしたがわなければならない。だから、国会の演壇から社会主義革命の任務を主張することに、もっと多くの注意をむけなければならない。社会主義の、そしてまさに科学的社会主義の基本概念と目標を宣伝する演説が、もっとたびたび国会の演壇から聞かれるように、努力しなければならない。そして、国会を革命的・社会民主主義的に利用することと日和見主義的に利用することとの区別は、つぎの点になければならない。すなわち、社会民主党議員団と党とは、政府と露骨な反動派とを攻撃するだけにとどまらず、自由主義派の反革命性をも、小ブルジョア的農民民主主義派の動揺をも暴露して、あらゆるブルジョア政党の階級的性格を大衆に全面的に説明しなければならない。